

学びの環境教育部会

1. 研究課題

子ども・教職員のウェルビーイングを実現し、心身ともに安心して幸福な学校生活を送るためにはどうするべきか

2. 研究内容

[研究内容1]

～子どもがウェルビーイングを実現するために、教育環境の整備はどうあるべきか～

①子どもの安全

家庭や地域と連携し、児童生徒の安全を守る取組

②学校の危機管理体制・防災

避難訓練の方法や特徴、地域との連携についての取組

日常的に災害について考え、対応について実践的に学ぶ取組

③教育環境の整備

学びやすく、生活しやすい環境の整備についての取組

教室環境のユニバーサルデザイン化

④食と健康の管理

食育や食物アレルギーに関する

[研究内容2]

～教職員がウェルビーイングを実現するために、職場の環境・校務の情報化の整備はどうあるべきか～

①職場環境の整備

働きやすい職場環境・教職員の関係づくりについての取組

教職員の働き方改革

②校務の情報化についての取組

働きやすい職場環境のために、校務の情報化についての取組

保健業務の情報化についての取組

3. 研究方法

(1) 授業・取組の実践

- ① 各校での取組や現状分析を基本にして、実践を積み上げる。

(2) 研究協議会

- ① 研究協議会を行う中で、各校の実践発表を中心に交流を行う。
- ② 全体で理論研修の後、分科会をそれぞれ小グループに分ける。
- ③ 研究協議会の実施場所・方法などについては部会だよりにて連絡する。

(3) 啓発・発信・連絡

- ① 部会 HP などを通じ、有益な情報を提供したり、各種連絡などを行ったりする。
- ② 研究協議会で話し合われた内容については、HP、各種刊行物・関係機関へのはたらきかけを通し広く発信していく。